

3月

1 / 日曜

レムナントは、^{じゅうよう}重要な^{しんり}真理を
^{つた}伝えてもらわなければなりません

ヨシュア 1:1~9 | わたしのしもべモーセは死んだ。今、あなたとこのすべての民は立って、このヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの^{ひとひと}人々に与えようとしている地に行け。あなたがたが足の裏で踏む所はことごとく、わたしがモーセに^{やくそく}約束したとおり、あなたがたに与えている。(2~3)



1. ヨシュアは、神様に関することをモーセを通して見ました。

- (1) ヨシュアは、イスラエルの民を出エジプトさせるために、神様がモーセを通して10の奇跡をなされたことを見ました。紅海を分けられ、荒野で奇跡をなされたことを見ました。幕屋の祝福も見ました。
- (2) ヨシュアはモーセを通して、礼拝の祝福と幕屋、ささげ物、祭りの祝福を悟りました。
- (3) ヨシュアは、荒野で民がつぶやいた人と、本当の真理を握って祈った人に分かれたことを見ました。
- (4) ヨシュアは、メシヤが生まれるカナンの地に行かなければならないことを知っていました。

2. ヨシュアは、モーセの信仰を伝えてもらいました

- (1) 神様は、ヨシュアにモーセの時に約束されたことをすでに与えたとおっしゃいました。(第一の約束、ヨシュア 1:1~4)
- (2) 神様は、モーセとともにいたように、ヨシュアとともにいると約束してくださいました(第二の約束、ヨシュア 1:5)
- (3) ヨシュアに「強く雄々しくあれ、ただ強く雄々しくあって、右にも左にもそれではならない」と言われました(第三の約束、ヨシュア 1:6~7)

3. 契約と霊的な祝福は伝えられます

- (1) 親の契約と霊的状态は、レムナントに伝えられます(出 2:1~10)
- (2) 師匠の契約は、レムナントにそのまま伝えられます(ヨシュア 1:1~5)
- (3) 契約と祝福は、次世代にそのまま伝えられます(ヨシュア 1:6)

3月

8 / 日曜

こうかい
紅海とヨルダンを分けて
たいけん
神様の力を体験しましょう

ヨシュア 3:1~13 | 見よ。全地の主の契約の箱が、あなたがたの先頭に立って、ヨルダン川を渡ろうとしている。今、部族ごとにひとりずつ、イスラエルの部族の中から十二人を選び出しなさい。全地の主である主の箱をかつく祭司たちの足の裏が、ヨルダン川の水の中にとどまると、ヨルダン川の水は、上から流れ下って来る水がせきとめられ、せきをなして立つようになる。(11~13)



1. 神様は、紅海を分けられました

- (1) イスラエルの民に最後までついてくるエジプトの軍隊が紅海でおぼれて死ぬようにされました
- (2) このことで、すべてのイスラエルの民が神様の力を体験しました
(出 14:1~13)
- (3) 全世界に、主なる神様の力をあかしするためです
- (4) このことで、カナンのに暮らしていた7つの部族、31人の王は、大きなショックを受けました

2. 40年が過ぎたある日、神様は、イスラエルの民にもう一度、ヨルダン川を分けなさいと言われました。イスラエルの民が神様の力を体験して、カナンに入っていくためです。

- (1) ヨルダン川を分けた時、役人(つかさ)たちが、先に契約をにぎりました
(ヨシュア 3:2)
- (2) 一度も行ったことがない道を契約の箱について行きました
(ヨシュア 3:3~4)
- (3) 契約の箱をかついだ祭司が先頭に立って行きました(ヨシュア 3:6)

3. 神様は「主の箱をかつぐ祭司たちの足の裏が、ヨルダン川の水の中にとどまると、ヨルダン川の水は、上から流れ下って来る水がせきとめられ、せきをなして立つようになる」と約束されました

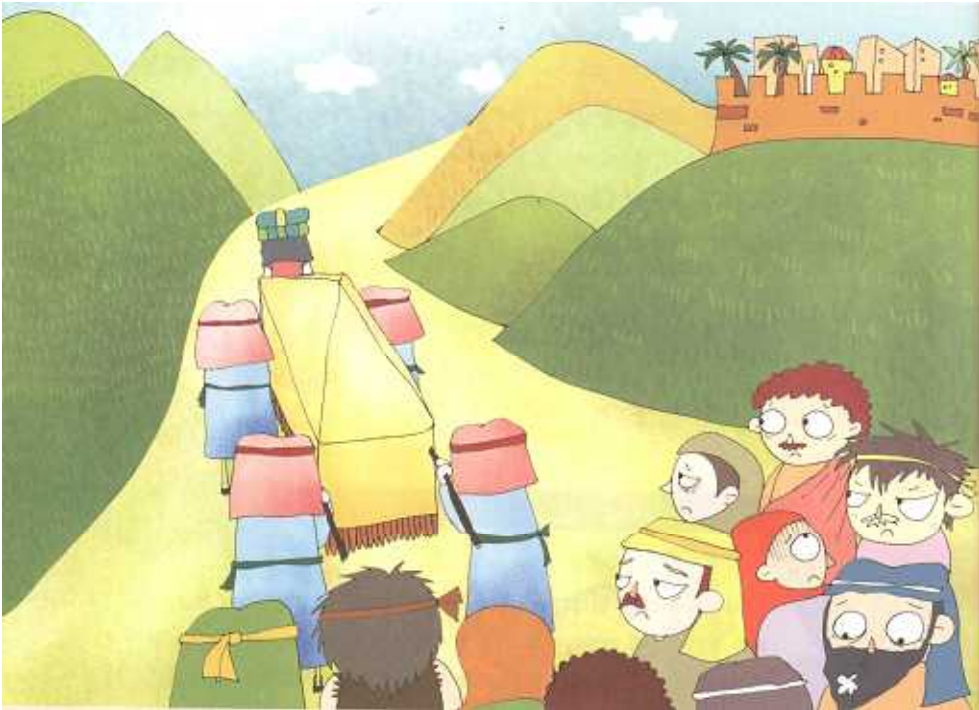
- (1) 神様は、イスラエルの民に出エジプトの記憶を思い起こさせようと、ヨルダン川を分けられました
- (2) 紅海を渡った先祖の信仰を継続するためです
- (3) 神様は、12の石を立てて、次世代に記念碑的事件として記憶するようにされました(ヨシュア 4:1~15)

3月

15 / 日曜

エリコを崩さなければなりません

ヨシュア 6:1~21 | その七度目に祭司たちが角笛を吹いたとき、ヨシュアは民に言った。「ときのをあげなさい。主がこの町をあなたがたに与えてくださったからだ。この町と町の中のすべてのものを、主のために聖絶しなさい。ただし遊女ラハブと、その家に共にいる者たちは、すべて生かしておかなければならない。あの女は私たちの送った使者たちをかくまってくれたからだ」(16~17)



1. エリコのような強い町を倒さなければなりません

- (1) カナンに入ろうとするなら、カナンにある要塞、エリコの町をかならず倒さなくてはなりません
- (2) エリコの町は、偶像でいっぱいなところでした
- (3) エリコの町に住んでいた人々は、イスラエルの民を通して神様が奇跡をなされたといううわさを聞いて、町の門をかたくしめて、町の外に出入りしていませんでした

2. 神様は回るだけしなさいと命令されました

- (1) 神様は、7人の祭司が雄羊の角笛を持って、契約の箱の前を進み、町を回りなさいと言われました。イスラエルの民は、契約の箱についてエリコの町を回りなさいと言われました(ヨシヤ 6:1~21)。エリコの町にいた人々は、すべてこわくてふるえていました
- (2) 神様は、偵察の人を隠してくれたラハブとラハブの家族を探しなさいと言われました(ヨシヤ 6:17)
- (3) イスラエルの民がエリコの町を回った七日目に、エリコの町は崩れました

3. 神様は、契約の箱をぜったいに逃されません。それで、契約の箱が行くところごとに働きがおきました

- (1) 神様のみことばがあまりなかった時期に、契約の箱のそばで寝ていたサムエルは、神様の御声を聞きました(Iサムエル 3:1~18)
- (2) ダビデは、契約の箱をダビデの町に移すとき、うれしくて踊りました(サムエル 6:1~19)
- (3) ダビデは契約の箱を迎える神殿を作ることを願いました。ダビデは、その準備だけでも、神様に感謝しました(I歴代 29:10~14)

子どもが知るべきヨシュア記

3月

22 / 日曜

けいやく
契約を持った人は
くうぜんぜつご
空前絶後な答えを受けます

ヨシュア 10:10~14 | たみ民がその敵に復讐てき ふくしゅうするまで、日は動うごかず、月はとどまった。これは、ヤシャルの書にしるされているではないか。こうして、日は天のまなかにとどまって、まる一日ほど出て来ることを急いそがなかった。主が人の声こゑを聞き入れたこのような日は、先にもあとにもなかった。主がイスラエルのために戦たたかったからである。(13~14)



1. 空前絶後な答えを見つける者が正しい答えを味わう者です

- (1) 今日は、今までになく、これからもない日です(空前絶後な日)
- (2) 私は今までになく、これからもない人です(空前絶後な人)
- (3) 伝道とたましいの救いは、今までになく、これからもないほど、重要な働きです(空前絶後な働き)

2. 太陽と月を止める、空前絶後な答えは、ヨシュアの力ではなく、契約で受けたことです

- (1) カナンの部族であったギブオンの人々が、自分たちはイスラエルの民と平和条約を結ぶために遠いところから来たと、うそをつきました。そのうそにだまされてヨシュアは、その人々と平和条約を結びました(ヨシュア 9:1~15)。このことで、アモリ連合軍と戦闘が行われました(ヨシュア 10:6)
- (2) 戦闘の前に、ヨシュアは答えを先に受けました。神様はヨシュアの軍隊より先にひょうを降らせて、アモリの人々を打たれました(ヨシュア 10:8~11)
- (3) ヨシュアの軍隊は、カナンの地域の道をよく知りません。しかし、夜になってきました。危機の瞬間です(ヨシュア 10:11~12)
- (4) その時、ヨシュアが祈りました「日よ。ギブオンの上で動くな。月よ。アヤロンの谷で」ヨシュアが祈りを終えたら、太陽と月が止まりました(ヨシュア 10:12~14)

3. 神様は、ヨシュアと同じレムナントにも答えてくださいます

- (1) 当然に受けるしかない、絶対的である答えをくださいます(当然性、必然性、絶対性)
- (2) だれもまねをしたり、ついてくることができない答えをくださいます(唯一性)
- (3) 前にも、これからもない、空前絶後な答えをくださいます

3月

29 / 日曜

けいやく 契約はどんな危機にも勝てます

ヨシュア 14:6~15 | 今、ご覧のとおり、主がこのことばをモーセに告げられた時からこのかた、イスラエルが荒野を歩いた四十五年間、主は約束されたとおりに、私を生きながらえさせてくださいました。今や私は、きょうでもう八十五歳になります。しかも、モーセが私を遣わした日のように、今も壮健です。私の今の力は、あの時の力と同様、戦争にも、また日常の出入りにも耐えるのです。どうか今、主があの日に約束されたこの山地を私に与えてください。(10~12上)



1. 最後さいごにイスラエルの民たみに大きな危機ききが来きました。イスラエルの民たみは、混乱こんらんしてしまいました

(1) アナク山地は、とても大きくて強固きょうこに、よく守られた山の町でした。

そして、アナク山地の人々ひとびとは背もとても高く、からだからだが大きな巨人きよじんでした

(2) それで、イスラエルの民たみは、とてもがっかりしてしまいました

(3) アナク山地は行くことができないと、おたがいにゆずりあいました

2. 危機ききの地であるアナク山地あなかつちに行いって戦たたかおうと、カレブが先立さきだちって言いいました

(1) カレブは契約けいやくを持っていました(ヨシュア 14:6~9)

(2) カレブは、契約けいやくをにぎって大胆だいたんに、しかし、謙遜けんそんに言いいました
(ヨシュア 14:10~12)

(3) カレブは、85歳さいになっただおじいさんでしたが、契約けいやくを握にぎって戦せんとう闘とうに勝利しょうりしました(ヨシュア 14:13~15)

3. カレブは、危機ききの時ときごとに現あらわれました

(1) カナンを偵察ていさつした10人が不信仰ふしんこうの報告ほうこくをしたカデシュ・バルネヤで、カレブは、堂々どうどうと信仰しんこうの報告ほうこくをしました(民14:1~10)

(2) イスラエルの民たみが、おたがいにゆずって、参加さんかしなかったアナク山地でも、カレブは、堂々どうどうと先立さきだちって行いきました(ヨシュア 14:6~15)